

各種機器の性能等

1 電気錠・機械警備操作用カード認証装置等

電気錠・機械警備操作用カード認証装置は、ＩＣカードによる認証を行うものとして、以下の要件を満たすこと。

(1) 電気錠・機械警備操作用カード認証装置に係るＩＣカード対応

○ＩＣカード規格についてはフェリカ及びマイフェアのカードの両規格（又はいずれかの規格）を読み込み可能な機種とする。

(2) ＩＣカード規格等

○ＩＣカード規格についてはＩＣチップ内蔵のフェリカ又はマイフェアのいずれかとし、外形寸法は JIS X 6301 に準拠した幅85.6mm 高さ 54.0mm厚さ 0.76mm であること。

○履行期間中の追加発注時には、見積総額のうち、ＩＣカード作成及び納品に係る金額を１２０で割った１枚当たりの単価での追加発注を可能とすること。

○ＩＣカードには発行履歴、所在管理のために裏面にカード番号を表示すること。

○発注者がカードデザインの変更を希望した場合、指定するデザインで発行が可能であること。その場合、デザイン変更に係る費用は、発注者負担とする。

○本業務に係る契約期間中、受託者は、プライバシーマーク取得済（付与有効期間中）であること。

○電気錠（入退室管理）・機械警備操作について、ＩＣカード１枚で共通利用が可能であること。

○ＩＣカード内の情報を改ざんすることができないＩＤＭ、ＵＩＤ以外の複製等が困難な個別番号をＩＣカード内に１種類以上有すること。

○操作カードは、指定枚数を機械警備業務開始の１０業務日前までに、発注者へ交付すること。

○登録するカードは、入退室管理用ＰＣにおいて電気錠（入退室扉）及び機械警備操作用のカード認証装置毎に資格設定ができる機能を有すること。

○入退室管理用ＰＣにおけるＩＣカードの利用禁止登録により、ＩＣカード認証器での照合不可及電気錠の解錠不可となること。

(3) 電気錠・機械警備操作用カード認証装置及び各種通信装置

○停電・瞬停に対応できるよう、バッテリー等で１０分程度の停電補償が可能なこと。また、復電後に自動で復旧すること。

○入退室管理用ＰＣとの通信が不通時でも問題なくＩＣカードの認証、電気錠の解錠・施錠ができ、火災時連動制御（火災報知設備から警報信号を受信することで、個別に指定する電気錠の強制解錠が行えること。）が可能であること。

(4) 電気錠設置

○本庁舎１階１箇所、第二庁舎１階１箇所の計２箇所の自動ドアについて、受注者にて点検事業者等へ連絡の上、自動ドア専用の電気錠の組み込みを行うこと。

○自動ドア以外の電気錠を設置する全ての扉については、電気錠の選定は受注者にて行い、扉閉鎖時に円滑に電気錠が施錠状態となるよう調整を行うこと。

○配線工事及び電気錠を取付けるのに必要な工事等は受注者負担で実施すること。

○全ての電気錠については入退室管理用ＰＣにおいて制御可能とし、停電時や機器故障時の入退室対応のため、施錠・解錠が可能な鍵を各電気錠につき３本以上受注者から発注者へ納入すること。

○自動ドア以外の電気錠を設置する全ての扉については、非常用サムターンカバーを設置すること。

2 入退室管理主装置

入退室管理用ＰＣは、機械警備・入退室管理システムの管理・運用を行うために設置することとし、以下の要件を満たすこと。

(1) 入退室管理用ＰＣの基本仕様等

○対応ＯＳ・ブラウザは以下のいずれかで対応すること。

※警備業務期間中に使用ソフトウェアのサポート期間が終了となった場合には、その更新等について発注者・受注者で別途協議するものとする。

《OS》

Microsoft Windows11 Home (32bit/64bit) 日本語版

Windows11 Pro (32bit/64bit) 日本語版

《ブラウザ》

Firefox, Chrome, Edge

○入退室管理用PC

入退室管理用PC本体（以下「PC本体」）はデスクトップパソコン・ノートパソコンいずれも可
※PC本体をノートパソコンとした場合でも、映像等表示装置（モニター）、キーボード・マウスをあわせて設置すること。

※入退室管理用PC一式を本庁舎及び第二庁舎それぞれの指定場所内に設置すること。また、PC本体を動作状態のまま収納し、第3者の破壊等を防止するための施錠可能な収納ラックを納品すること。（PC本体以外はラック外で接続。ITV録画装置一式の収納ラックと同一も可。）

○映像等表示装置（モニター）

液晶ディスプレイ 21インチ以上

画面解像度 1366×768 ピクセル以上

○CPU: Intel Core 2Duo 2.4GHz 以上又は同等品以上

○メモリ容量: 4GB 以上

○HDD容量: 500GB 以上

※ハードディスクの障害発生時は、受注者がハードディスク交換を行い、情報セキュリティ対策のため、交換済みハードディスクは受注者が物理的破壊処理を行うこと。

(2) 入退室管理用PC用ソフトウェア

○入退室管理用PCから管理対象となる扉に係る電気錠の解錠・施錠状態を監視・確認でき、電気錠の解錠・施錠が遠隔にて操作可能であること。

○カレンダー表示等による曜日・祝日・個別日付及び自動連続解錠（照合することなく電気錠が解錠）時間帯を指定することで、電気錠が解錠される日や自動連続解錠の時間帯が容易に設定・変更できること。（曜日・祝日、一定の連続した期間等は一括設定が可能であること）

○本業務に係るシステムで発生したイベント（機器異常の検知、不正操作、入退室や警備に係る各種操作履歴等）及び当該イベントの発生日時及び操作者など（以下「イベント記録」という。）について保存ができ、入退室管理用PCからの操作で各種情報を出力対象項目（期間、日時、イベント内容、登録者個人名など）を指定して検索することができ、検索結果をモニター上に表示及びCSVファイル形式等で出力できること。

○イベント記録、各種登録・設定及びその他の履歴に係るデータは300万件以上保存・確認することができ、CSVファイル形式等で出力することが可能であり、外部記憶装置に保存できる機能を有すること。

○入退室管理用PCの操作者は、10名以上で設定が可能であること。

○入退室管理用PCの操作者については、ログオンID及びパスワードを設定し、操作者毎に操作権制限を行うことができるものとする。また、一定時間操作が無い場合には自動でログアウトする機能を有すること。

○操作性を考慮し、機械警備と入退室管理が連動する機能を有すること。

○入退室管理用主装置の時刻ズレを防止するため、自動で時刻調時を行うこと。

○将来の拡張性を考慮し、勤怠管理機能を有すること。

○将来の拡張性を考慮し、生体情報の登録・認証管理機能の拡張性を有すること。

○将来的な履歴管理などの利便性の向上を考慮し、専用ネットワークに接続しない遠隔地のパソコンなどで各種操作履歴確認、カード及び登録者情報の追加・削除・修正が可能な機能を有すること。

(3) カード情報と登録者情報管理

- I C カード情報と登録者情報は、ソフトウェア上で紐付け管理できること。
- 登録可能者数は、30,000人以上であること。
- 登録者情報は、入退室管理用 P C での個別修正のほか、C S V ファイル形式等のデータを使用したインポート・エクスポート機能を有し、一括登録または一括削除も可能であること。
- 登録者情報には個人名以外にも、複数の情報項目（部署名、役職など）が設定・入力できること。
- I C カード情報に有効期限の開始・終了及び有効期限のあり・なしの設定もできること。
- 入退室管理用 P C により I C カードの利用禁止登録をカード毎に1枚ずつ設定可能であること。
- 将来の拡張性を考慮し、登録者毎に暗証番号を設定できる機能を有すること。

3 監視カメラ等

(1) 監視カメラ仕様

- カメラから直接 L A N に映像データを送出可能なネットワークカメラとすること。
- 映像データは以下の仕様とすること。
 - 《屋外用》
 - データ形式：H. 2 6 4 又は H. 2 6 5
 - 映像サイズ：1 9 2 0 × 1 0 8 0 以上
 - フレームレート：5 f p s 以上
 - 音声録音：なし
- 日中と夜間など、周囲の照度の変化に応じて感度を自動的に切替え、もしくは近赤外投光により、照度の低い場所（0ルクス）でも監視を可能とすること。
- 機器異常・不正操作等については、受注者が即時検知可能な仕組みとすること。
- 画面中央のフォーカスが適切になるように自動調整を行うオートフォーカス機能を有すること。
- 納品する各監視カメラの I P アドレスは、初期値の場合、重複しない I P アドレスを自動的に割り当てる機能を有すること。
- カメラと録画装置との通信は、L A N 方式で構築する機能を有すること。

(2) 監視カメラ設置

- 監視カメラ設置に当たっては設置方向・角度、画角等について発注者と協議のうえ決定すること。

4 I T V 録画装置

(1) I T V 録画装置の基本仕様等

- I T V 録画装置一式は I T V 録画装置本体、I T V 録画装置用モニター、操作機器（専用のリモコン又はマウスにて容易操作可能なもの）とすること。
- I T V 録画装置用モニターは、21インチ以上とすること。
- 監視カメラのライブ・録画映像を単画面あるいは1、4、9、16の分割画面でモニターに表示可能とすること。
- 操作設定により、モニターの1画面で複数のカメラ映像を表示する場合の対象カメラ及び表示レイアウトを設定可能とすること。
- 記録映像再生機能は、再生、逆再生、一時停止、停止、コマ送り、コマ戻し、早送り、早戻しを可能とすること。また、監視カメラ映像を記録しながら、その映像データの冒頭から再生（追いかけて再生）可能とすること。
- 個別の監視カメラ、日時を指定して記録映像の検索・呼び出しが可能とすること。
- I T V 録画装置は U P S により停電補償を行うこと。
- I T V 録画装置の操作者は、10名以上で設定が可能であること。
- I T V 録画装置の操作者については、ログオン I D 及びパスワードを設定し、操作者毎に操作権限制限を行うことができるものとする。また、一定時間操作が無い場合には自動でログアウトする機

能を有すること。

- 調時用機器の利用等による入退室用管理主装置と時刻の調時が可能であること。
- ＩＴＶ録画装置の機器異常（ハードディスク異常、監視カメラ通信異常、監視カメラ動作異常など）等について受注者が即時検知可能な仕組みとすること。
- 記録用ハードディスクの障害発生時は、受注者がハードディスク交換を行い、情報セキュリティ対策のため、交換済みハードディスクは受注者が物理的破壊処理を行うこと。
- ＩＴＶ録画装置一式を本庁舎及び第二庁舎それぞれの指定場所内に設置すること。又、ＩＴＶ録画装置一式を動作状態のまま収納し、第３者の破壊等を防止するための施錠可能な収納ラックを納品すること。（入退室管理用ＰＣ本体の収納ラックと同一も可）
- 将来の拡張性を考慮し、録画装置本体以外の場所（建物内および遠隔地）においてインターネット等でも任意のカメラ映像のライブ表示・再生・検索等を可能とする機能を有すること。
- 将来の拡張性を考慮し、監視カメラの増設が最大５台まで可能な機能を有すること。

（２）ＩＴＶ録画装置の録画仕様等

- 映像データは、設置した全監視カメラについて監視カメラ映像の画質を落とさず（監視カメラ映像サイズで）２４時間連続録画を３１日以上保存可能とする。ただし、最終的な記録設定内容については、発注者と受注者で協議の上決定すること。
- 操作設定により、映像データを外部記録媒体（ＳＤカード、ＵＳＢメモリー等）に保存可能とする機能を有すること。
- 映像データの記録日時はあわせて保存され、再生の際には映像中に記録日時が表示されること。